



近江八幡市・長光寺で 新発見の経典を特別初公開！

会期

令和5年(2023年)

4月1日(土)～10日(月)

[時間] 10:00～15:00

会場

高野山真言宗
補陀洛山

長光寺

近江八幡市長光寺町 694
☎(0748) 37-7743

経文維持協力金：500円

*期間中、限定朱印が頒布されます。

[交通のご案内]

- 公共交通機関でお越しの場合
 - ・JR琵琶湖線近江八幡駅より近江鉄道乗り換え「武佐」駅下車徒歩5分
- 車でお越しの場合(駐車場無料)
 - ・国道8号線「六枚橋」より約5分
 - ・名神竜王IC、蒲生スマートICより約15分

関連行事

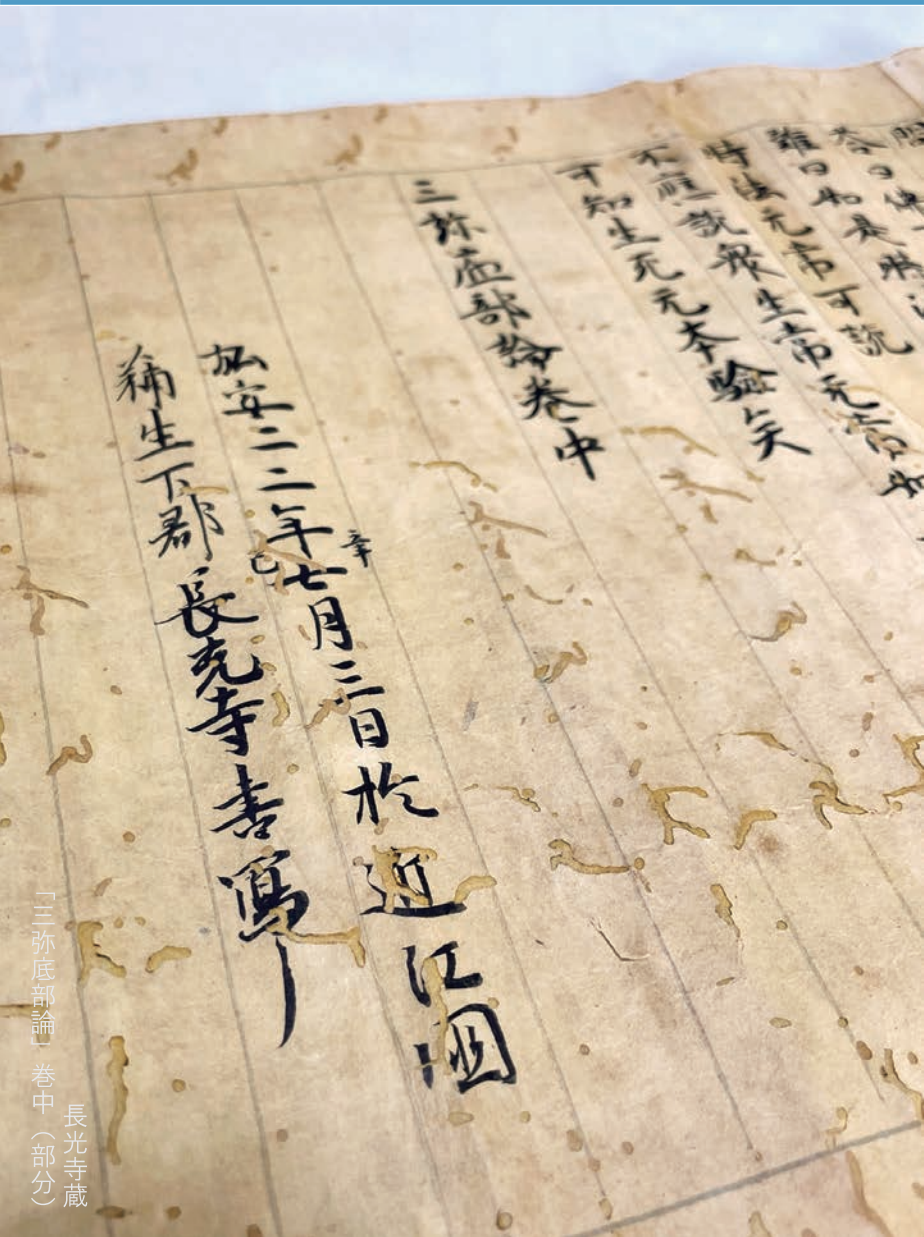
経典についての特別講演会を開催します。

がもうしもぐん
近江国蒲生下郡長光寺の
いっさいきょう
一切経について

講師：県立琵琶湖文化館副館長 井上優

4月2日(日)13:00～14:00

※申込不要 気軽にお越しください。



「三弥底部論」巻中(部分) 長光寺蔵

さんみていぶろん

長光寺の古経典(「三弥底部論」巻中)1巻が、鎌倉時代の弘安4年(1281)に当寺にあった一切経の写経所で書写された、貴重な経典であったことが、琵琶湖文化館の調査で判明しました。

長光寺にあらゆる経典類を集めた「一切経」があったことはこれまでに知られておらず、近江の仏教史を塗り替える新発見となります。

また、当地の名産として知られた「武佐墨」の起源が、長光寺写経所で「一切経」を大量に書写するための需要から生まれた可能性も考えられ、地域の文化史上たいへん注目されます。

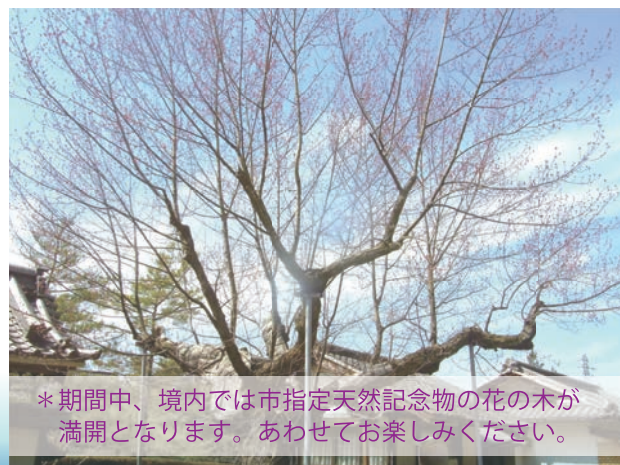
つきましては、琵琶湖文化館の協力のもと、このたび新発見の経典を、寺内にて特別に初公開いたします。貴重な機会ですので、ぜひご覧ください。

補陀洛山長光寺・滋賀県立琵琶湖文化館

☎0748-37-7743

☎077-522-8179

ウイルス等感染予防・拡散防止について皆さまのご理解とご協力をお願いします。



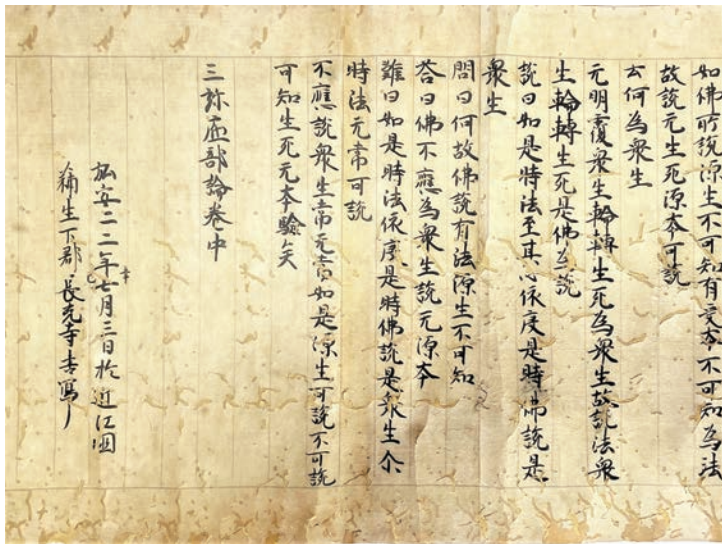
*期間中、境内では市指定天然記念物の花の木が満開となります。あわせてお楽しみください。

「三弥底部論」発見の意義

上・中・下の三巻からなる仏教の論書で、今回発見されたのは中巻の一部となります。

釈迦滅後、仏教教団が多くの部派に分かれて釈迦の教え（経）や教団の規範（律）について論議を行い、それぞれに論書（アビダルマ）を成立させました。「三弥底部論」はそうした論書のひとつですが、インドにおいて極めて特殊な部派がまとめたもので、内容もあまりに専門的であるため、日本において単独で書写されることはまれでした。

鎌倉時代に書写された「三弥底部論」は、あらゆる仏教経典を集めた「一切経」とよばれる 5000 巻を超えるワンセットの一部として写されたものであると考えられます。当時の長光寺には大部の一切経が備えられ、それを手本として写経事業が行われていたことも推測されます。さらに中世において地域の名産であった「武佐墨」の起源が、長光寺一切経の写経事業と深い関係を持つ可能性も指摘できるなど、地域の歴史に新たな光を当てる契機となりそうです。



「三弥底部論」巻中（部分）
長光寺蔵



琵琶湖文化館地域連携企画展事業は、休館中の滋賀県立琵琶湖文化館の収蔵品を中心に、県内の地域と連携し積極的な展示公開をおこなうことで、全国でも有数の質と量を誇る収蔵品に親しんでもらい、県内地域と連携した企画展をとおして、滋賀の文化の豊かさを再認識し、文化財保護の取組について理解をもとめる機会とすることを目的に実施しています。



琵琶湖文化館の活動は
ホーミングでチェック！

令和元年度



甲賀市土山歴史民俗資料館



愛荘町立歴史文化博物館



滋賀県立安土城考古博物館

／令和2年度

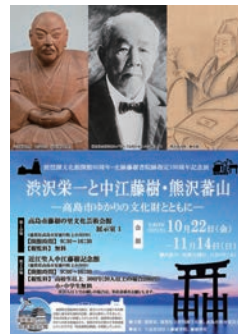


栗東歴史民俗博物館



滋賀県立安土城考古博物館

／令和3年度



高島市藤樹の里芸会館
近江聖人中江藤樹記念館

／令和4年度



滋賀県立安土城考古博物館



(大津) 大本山石山寺 豊浄殿



野洲市歴史民俗博物館

／令和5年度



滋賀県立安土城考古博物館
(開催中～令和5年4月2日まで)



(近江八幡市)
補陀洛山長光寺

